

平成23年度一般会計補正予算説明資料

7 款 商工費

2 項 工鉱業費

2 目 中小企業振興費

経済通商総室[企画調査室]→事業実施：商工政策室(内線：7212)  
(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
[債務負担行為] (新)【経済・雇用振興キャビネット】素形材産業高度化支援事業	0	(債務負担行為額) 100,000 100,492	(債務負担行為額) 100,000 100,492				(債務負担行為額) 100,000 100,492	
トータルコスト	0	101,291	101,291	(補正に係る主な業務内容) 補助金交付事務、補助事業採択企業の事業化に向けたフォローアップ				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人					
工程表の政策目標(指標)	-							

説明

1 事業の目的・概要

新興国の生産拠点から市場化に伴い、国内メーカーの市場近接型調達戦略や自動車産業のEV化の進展など、事業環境が悪化しつつある中、県内基盤産業である素形材産業の高度化を図り、新素材の成形など新技術の確立を目指す。

※素形材産業・・・素材に形を与えること(成形)を“素形材”と呼び、川上(素材メーカー)と川下(最終製品の組立メーカー)の川中に位置する鋳造、鍛造、金型などの業種・業態を指す。

2 主な事業内容

新興国ではできない付加価値の高い技術への研究開発を促進するため、成長分野(水ビジネス、原子力、医療用機器、航空機、ロボットなど)をターゲットとし、新素材の成形のために必要な技術力(軽量化・耐久性・耐食性)の向上に資する取組に必要な経費の一部を補助する。

【対象事業】 基礎研究、応用研究、実証実験

【素材対象】 チタン、モリブデン、マグネシウム、カーボン、タングステン等

【補助金額】 20,000千円×5件・・・最長平成25年3月末まで(債務負担行為)

【補助率】 2/3以内

【外部審査費】 492千円

3 経済・雇用振興キャビネット(素形材産業WG)における県内事業者の意見

○新興国ではできない新素材などへのチャレンジしか、国内生産の生き残る道はない。

○今後の方向性としては、軽量化・耐久性、耐食性に対する新素材のイノベーションが重要。

※経済・雇用振興キャビネット・・・県内企業経営者の方々と一緒になって施策を検討する場

研究開発における事業化へのシナリオ

